

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																															
専門学校穴吹ビューティカレッジ	平成14年3月14日	森川 和哉	〒 760-0020 (住所) 香川県高松市錦町1-3-5 (電話) 087-823-6600																															
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																															
学校法人穴吹学園	平成3年4月1日	穴吹 忠嗣	〒 760-0020 (住所) 香川県高松市錦町1-22-23 (電話) 087-823-5700																															
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度																													
衛生	衛生専門課程	美容学科	平成16(2004)年度	-	平成26(2014)年度																													
学科の目的	美容師国家試験合格を目指し、高い技術力、感性、人間性を高め社会に通ずる人材を育成し、ヘアスペシャリスト専攻、プライダルスタイルスト専攻により、より専門的な知識と技術を持ったスペシャリストを育成する																																	
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	美容師国家資格、UTOWAメイクアップ技術検定、山野流着装、ネイリスト技能検定、ABEまつ毛エクステンション技能者認定試験などが取得可能 令和6年度退学率は8.9%																																	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験																												
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	2,016 単位時間	570 単位時間	1,350 単位時間	96 単位時間																												
			単位	単位	単位	単位																												
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)	中退率	就職等の状況																													
80 人	75 人	0 人	0 %	0 %																														
就職等の状況	■卒業者数(C) :	36 人																																
	■就職希望者数(D) :	36 人																																
	■就職者数(E) :	36 人																																
	■地元就職者数(F) :	22 人																																
	■就職率(E/D) :	100 %																																
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E) :	61 %																																
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C) :	100 %																																
	■進学者数 :	1 人																																
	■その他																																	
	(令和 6 年度卒業者に関する令和 7 年 5 月 1 日時点の情報)																																	
■主な就職先、業界等 (令和6年度卒業生) 美容サロン 美容業界																																		
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載					有																												
	評価団体 : 株式会社のむら	受審年月 : R6年11月	評価結果を掲載したホームページURL	https://web.anabuki-college.net/content/uploads/aukrating-r3.pdf																														
当該学科のホームページURL	https://web.anabuki-college.net/department/beauty/																																	
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A : 単位時間による算定) <table border="1"> <tr> <td>総授業時数</td> <td>2,016 単位時間</td> </tr> <tr> <td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td> <td>96 単位時間</td> </tr> <tr> <td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td> <td>0 単位時間</td> </tr> <tr> <td>うち必修授業時数</td> <td>96 単位時間</td> </tr> <tr> <td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td> <td>96 単位時間</td> </tr> <tr> <td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td> <td>0 単位時間</td> </tr> <tr> <td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td> <td>96 単位時間</td> </tr> </table> (B : 単位数による算定) <table border="1"> <tr> <td>総単位数</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>うち企業等と連携した演習の単位数</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>うち必修単位数</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>うち企業等と連携した必修の演習の単位数</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)</td> <td>単位</td> </tr> </table>						総授業時数	2,016 単位時間	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	96 単位時間	うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位時間	うち必修授業時数	96 単位時間	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	96 単位時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	96 単位時間	総単位数	単位	うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	単位	うち企業等と連携した演習の単位数	単位	うち必修単位数	単位	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	単位	うち企業等と連携した必修の演習の単位数	単位	(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)	単位
総授業時数	2,016 単位時間																																	
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	96 単位時間																																	
うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位時間																																	
うち必修授業時数	96 単位時間																																	
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	96 単位時間																																	
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位時間																																	
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	96 単位時間																																	
総単位数	単位																																	
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	単位																																	
うち企業等と連携した演習の単位数	単位																																	
うち必修単位数	単位																																	
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	単位																																	
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	単位																																	
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)	単位																																	
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号) 4 人																																	
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)																																	
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)																																	
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)																																	
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)																																	
	計 3 人																																	
	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね 5 年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数 5 人																																	

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

美容師として働くために「美容」「メイク」「ネイル」「着付け」等に関する基礎知識から実践的な技術を身につけた人材を養成するのが学科の特色です。また、お客様に対する接遇等の現場対応力を身につけるためのカリキュラムを実施します。さらに、学内で学んだ知識・技術をもとに学生の就職希望に応じた施設で実習を行う。実習の体験を通して学生は学内における自らの学びを確認し評価するとともに、実習で得た課題を実習後の学びに繋げていく。また、現場で働く美容師の姿を通して職業人としての自らの将来像を具体化するとともに、変化する社会に対応して自ら学び続ける姿勢を養う職業教育の機会とする

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

カリキュラム編成や授業科目の内容・授業方法の充実・改善、実施イベントの改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置する。美容業界団体や美容関連企業、サロンに依頼した委員からの意見・要望を伺う。学校は「教育課程編成委員会」での意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善やイベント内容の改善を教務部が主体となり行い、新たなカリキュラム案、イベント案を作成しそれを校長が決定する。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
野村 慎二	日本ヘアカラー協会 理事	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	①
河端 公美子	河端着付教室 代表	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③
高畠 育代	有限会社カールズジャパン 専務取締役	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③
小野 和則	株式会社セレクトビューティー 執行役員	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③
中村 博子	株式会社 韻町リバース 副院長	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③
西村 恭	ホテルニューオータニ大阪 管理部管理課 総務 支配人	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③
藤明 洋和	香川県健康福祉部生活衛生課 課長	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「-」を記載してください。)

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (10月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年10月30日 14:00～15:30

第2回 令和7年3月14日 14:00～15:00

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

これからの中にはカットやカラー、パーマだけでなくヘッドスパやエイジングケアにも力を入れる必要があると指摘があつたため、頭皮・髪だけでなく、顔・全身へのアプローチを行うヘッドキュアの授業を実施予定。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学内で身につけた知識、技術を業等と連携した取り組みを通して評価し、より一層のスキルアップに繋がるようにする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

学内で身につけた知識、技術が美容サロン等と連携した取り組みを通じて、より一層のスキルアップに繋がるようにする実

務実習(インターンシップ)を実施する。学生は実務実習先で接客マナー等を身に付け、サロン担当者に評価をお願いする。実習終了時にはサロン担当者の意見や実習評価をふまえ、担当教員が評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
実務実習	3.【校外】企業内実習 (4に該当するものを除く。)	美容業の基礎となる挨拶や接客マナーを、実際のサロンで現場を通じて実践する。	(株)のむら、(有)リツツ、(株)atelier Lead、

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教員は教職員研修規程に従い、ビューティ業界で必要とされる資質、知識、技能について学生が習得できるよう、学内だけではなく、学外の研修等に参加することで自らの知識、技能の幅を広げ、それを教育の現場に反映させていくこととする。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	四国地区理容師美容師教員研修会	連携企業等:	日本理容美容教育センター
期間:	令和6年10月12日(土)~13日(日)	対象:	学科教員
内容	「来る南海地震に備える」「発達障害・不登校学生への対応」「俳句GIG!」		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	ICT活用中級研修	連携企業等:	穴吹学園(本部)
期間:	令和6年4月3日(水)	対象:	教職員
内容	Classroomの活用事例共有と具体的な授業での活用方法についての学び		

研修名:	非認知能力養成勉強会	連携企業等:	穴吹学園(本部)
期間:	令和6年9月12日(木)	対象:	教職員
内容	非認知行動資料(コアバージョン)作成		

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	四国地区理容師美容師教員研修会	連携企業等:	日本理容美容教育センター
期間:	令和7年10月18日(土)~19日(日)	対象:	学科教員
内容	未定		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	キャリアセンター(進路指導)研修	連携企業等:	穴吹学園(本部)
期間:	令和7年8月25日~27日	対象:	教職員
内容	職業教育・キャリア教育に関わる全ての教職員のための講座		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

教育活動の観察や意見交換を通じて、学校運営及び教育活動等の評価を行い、その結果に基づき改善を図ることでよい人材の育成に努める。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念、目的、育成人材像が定められているか、等
(2)学校運営	教育理念に沿った運営方針が策定されているか、等
(3)教育活動	教育理念等に沿った教育課程の明文化、実施ができているか、等
(4)学修成果	資格取得向上、就職率向上が図られているか、等
(5)学生支援	退学率の低減、就職等進路支援の充実は図られているか、等
(6)教育環境	設備、教育環境は整っているか、防災・安全管理の体制は十分か、等
(7)学生の受け入れ募集	学生募集は積極的・効率的に実施されているか。納付金の取り扱いは
(8)財務	財務基盤は安定しているか。財務情報の公開は適切か、等

(9)法令等の遵守	法務順守と適正な運営がなされているか。自己評価を実施し公開して
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を利用し社会貢献・地域貢献ができているか、
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員からのコメントや意見をもとに、各項目の改善に取り組んでいる。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任 期	種 別
野村 慎二	日本ヘアカラー協会	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	業界団体委員
河端 公美子	河端着付教室	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	企業等委員
高畠 育代	有限会社カールズジャパン	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	企業等委員
小野 和則	株式会社セレクトビューティー	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	企業等委員
中村 博子	株式会社 麴町リバース	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	企業等委員
西村 恭	ホテルニューオータニ大阪 管理部管理課 総務 支配人	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	企業等委員
矢野 理菜	Chrame in the life	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	卒業生代表委員
土居 真也	香川県立津田高等学校	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	高校関係委員
西本 泰三	英明高等学校	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	高校関係委員
落合 朱美	専門学校穴吹ビューティカレッジ保護者会	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	保護者代表委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://web.anabuki-college.net/content/uploads/auk-rating-r3.pdf>

公表時期: 令和7年11月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の関係者に学校運営及び教育活動等の理解を深めて頂くため、積極的に情報を公開し説明に取り組む。情報公開のツールとして、ホームページ、学校パンフレット、募集要項等を利用する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画、等
(2)各学科等の教育	定員数、入学、卒業者数、カリキュラム、資格取得の状況、等
(3)教職員	教職員の概要、等
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況、職業支援等への取組状況、等
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況、課外活動の取組、等
(6)学生の生活支援	学生支援の取組状況、等
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金・就学支援(奨学金、授業料免除等の案内)、等
(8)学校の財務	事業報告書、学校関係者評価報告書、等
(9)学校評価	自己評価報告書、学校関係者評価報告書、等
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://web.anabuki-college.net/disclosure/#beauty>

公表時期: 令和7年11月1日

授業科目等の概要

(衛生専門課程 美容学科)													
必修	分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技			
1	○		衛生管理	◎国家試験筆記科目【必須科目】 感染症に対する正しい知識や、消毒方法や消毒薬の調整方法など衛生管理技術を学習する	1通	40		○			○	○	
2	○		保健	◎国家試験筆記科目【必須科目】 皮膚や毛髪についての理解を深め、美容業務に必要な知識を身につけ、美容施術に活かす	1通	40		○			○	○	
3	○		香粧品化学	◎国家試験筆記科目【必須科目】 美容師の業務を行う上で必要な香粧品の基礎知識について学習する	1通	30		○			○	○	
4	○		文化論	◎国家試験筆記科目【必須科目】 ファッショントレンド、メイクを含めたヘアの歴史を知り知識の幅を広げる	1通	30		○			○	○	
5	○		美容技術理論	◎国家試験筆記科目【必須科目】 美容技術を習得するために、その裏付けとしての基礎理論を学習する	1通	60		○			○	○	
6	○		美容実習	◎国家試験実技科目【必須科目】 美容師国家試験課題を理解し、技術を習得する	1通	##			○		○	○	
7	○		サロン実務	【選択必須科目】 美容技術の基本手技の技術を学習し、サロンワークに対応できる技術を習得する	1通	60			○		○	○	
8	○		メイク	【選択必須科目】 スキンケア・メイクアップ技術を習得し、UTOWAメイクアップ技術検定の合格を目指す	1前	60			○		○	○	
9	○		ネイル	【選択必須科目】 ネイルに関する専門的な知識を学び、ネイルリスト検定3級の技術を習得する	1通	60			○		○	○	
10	○		着付け	【選択必須科目】 着付けに関する専門的な知識や作法を学び、山野流着装初伝・中伝の資格取得を目指す	1通	60			○		○	○	
11	○		ヘアアレンジ	【選択必須科目】 ヘアアレンジの基礎技術を学習し、オリジナルスタイルを作成し、実践的な技術を学習する	1通	60			○		○	○	

12	○		社会人基礎講座	【選択必須科目】 社会人としてのマナーや対人技能、一般常識を養い、サービス接遇検定3級の合格を目指す	1 前	30		○			○	○	○	
13	○		実務実習	【選択必須科目】 美容業の基礎となる挨拶や接客マナーを、実際のサロンで現場を通じて実践する	1 後	48				○	○	○	○	
14	○		パーソナルカラー	【選択必須科目】 美容業界における色彩の役割を理解し、パーソナルカラー検定モジュール1の合格を目指す	1 通	30		○			○		○	
15	○		トップスタイルリスト	【選択必須科目】 イメージ通りのスタイル構成、手順、テクニックを身につけ、外部コンテストで入賞を目指す	1 後	30		○			○		○	
16	○		アイデザイナー	【選択必須科目】 まつ毛エクステに関する正しい知識を学習し、まつ毛エクステ検定試験合格を目指す	1 後	30		○			○		○	
17	○		関係法規・制度	◎国家試験筆記科目【必須科目】 美容業における関係法規・制度の重要性と関わりについて知識と理解を深める	2 通	30		○			○		○	
18	○		衛生管理	◎国家試験筆記科目【必須科目】 感染症に対する正しい知識や、消毒方法や消毒薬の調整方法など衛生管理技術を学習する	2 通	50		○			○		○	
19	○		保健	◎国家試験筆記科目【必須科目】 皮膚や毛髪についての理解を深め、美容業務に必要な知識を身につけ、美容施術に活かす	2 通	50		○			○		○	
20	○		香粧品化学	◎国家試験筆記科目【必須科目】 美容師の業務を行う上で必要な香粧品の基礎知識について学習する	2 通	30		○			○		○	
21	○		文化論	◎国家試験筆記科目【必須科目】 ファッショント、メイクを含めたヘアの歴史を知り知識の幅を広げる	2 通	30		○			○		○	
22	○		運営管理	◎国家試験筆記科目【必須科目】 美容業における接客、経営戦略、マーケティング、経営管理の重要性と関わりを理解する	2 通	30		○			○		○	
23	○		美容技術理論	◎国家試験筆記科目【必須科目】 美容技術を習得するために、その裏付けとしての基礎理論を学習する	2 通	90		○			○		○	
24	○		美容実習	◎国家試験実技科目【必須科目】 美容師国家試験課題を理解し、技術を習得する	2 通	#			○		○		○	
25	○		サロン実務	【選択必須科目】 美容技術の基本手技の技術を学習し、サロンワークに対応できる技術を習得する	2 通	30		○			○		○	
26	○		実務実習	【選択必須科目】 美容業の基礎となる挨拶や接客マナーを、実際のサロンで現場を通じて実践する	2 前	48				○	○	○	○	

27	○	トップスタイルリスト	【選択必須科目】 イメージ通りのスタイル構成、手順、テクニックを身につけ、外部コンテストで入賞を目指す	2 前	30			○	○		○	
28	○	専攻（ヘアメイク）	【選択必須科目】 ヘアメイクの基礎、スタイル構成、手順、テクニック、カメラワークなどを身につけ、外部コンテストで入賞を目指す	2 通	90			○	○		○	
29	○	専攻（ブライダル）	【選択必須科目】 ブライダルに関する技術を学び、創造力や応用力を養い、社会性や協調性を身につける	2 通	90			○	○		○	
合計				29	科目	2016 単位 (単位時間)						

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：全科目の成績がC評価以上及び出席率が85%以上であること	1学年の学期区分	2期
履修方法：上記条件を満たすこと	1学期の授業期間	20週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地																															
専門学校穴吹ビューティカレッジ		平成14年3月14日	森川 和哉	〒 760-0020 (住所) 香川県高松市錦町1-3-5 (電話) 087-823-6600																															
設置者名		設立認可年月日	代表者名	所在地																															
学校法人穴吹学園		平成3年4月1日	穴吹 忠嗣	〒 760-0020 (住所) 香川県高松市錦町1-22-23 (電話) 087-823-5700																															
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度																														
文化・教養	文化教養専門課程	ビューティコーディネーター科	平成16(2004)年度	-	平成26(2014)年度																														
学科の目的	メイク、ネイルの専門的な知識と技術を持ったスペシャリストを目指し、サロンワーク実習やボランティア活動を通じて社会性・人間性を高め、社会に貢献できる人材を養成する。																																		
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	メイク、ネイルに関する資格(化粧品検定1級、メイクセラピー検定2級、ネイリスト検定1級、ジェルネイル検定上級をはじめとし、卒業までに最大24個)取得を目指し、美容部員、ネイリストに必要な知識やスキルを身につけることのできる学科。令和6年度退学率は6.9%。																																		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																												
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入 1,700 単位時間	530 単位時間	1,110 単位時間	60 単位時間	0 単位時間	0 単位時間																												
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)	中退率																															
40 人	49 人	0 人	0 %	0 %																															
就職等の状況	<table border="1"> <tr> <td>■卒業者数(C) :</td> <td>18</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>■就職希望者数(D) :</td> <td>18</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>■就職者数(E) :</td> <td>18</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>■地元就職者数(F) :</td> <td>14</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>■就職率(E/D) :</td> <td>100</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>■就職者に占める地元就職者の割合(F/E) :</td> <td>78</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>■卒業者に占める就職者の割合(E/C) :</td> <td>100</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>■進学者数 :</td> <td>0</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>■その他</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>(令和 6 年度卒業者に関する令和 7 年 5 月 1 日時点の情報)</p> <p>■主な就職先、業界等</p> <p>(令和6年度卒業生) 株式会社イブサ・コーネー化粧品販売株式会社・株式会社高松三越・NailSalonFeminine・MociNail・TotalBeautySalonKOHAKU・株式会社リンリン・JOJONail・JUUJUBeauty</p>							■卒業者数(C) :	18	人	■就職希望者数(D) :	18	人	■就職者数(E) :	18	人	■地元就職者数(F) :	14	人	■就職率(E/D) :	100	%	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E) :	78	%	■卒業者に占める就職者の割合(E/C) :	100	%	■進学者数 :	0	人	■その他			
■卒業者数(C) :	18	人																																	
■就職希望者数(D) :	18	人																																	
■就職者数(E) :	18	人																																	
■地元就職者数(F) :	14	人																																	
■就職率(E/D) :	100	%																																	
■就職者に占める地元就職者の割合(F/E) :	78	%																																	
■卒業者に占める就職者の割合(E/C) :	100	%																																	
■進学者数 :	0	人																																	
■その他																																			
第三者による学校評価	<p>■民間の評価機関等から第三者評価: 有</p> <p>※有の場合、例えば以下について任意記載</p> <p>評価団体: 有限会社カールズジャパン 受審年月: 令和6年10月30日 評価結果を掲載したホームページURL: https://web.anabuki-college.net/content/uploads/aukrating-r3.pdf</p>																																		
当該学科のホームページURL	https://web.anabuki-college.net/department/beauty/beauty-coordinator/																																		
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	<p>(A: 単位時間による算定)</p> <table border="1"> <tr> <td>総授業時数</td> <td>1,700 単位時間</td> </tr> <tr> <td>うち企業等と連携した実習・実習・実技の授業時数</td> <td>60 単位時間</td> </tr> <tr> <td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td> <td>0 単位時間</td> </tr> <tr> <td>うち必修授業時数</td> <td>60 単位時間</td> </tr> <tr> <td>うち企業等と連携した必修の実習・実習・実技の授業時数</td> <td>60 単位時間</td> </tr> <tr> <td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td> <td>0 単位時間</td> </tr> <tr> <td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td> <td>60 単位時間</td> </tr> </table> <p>(B: 単位数による算定)</p> <table border="1"> <tr> <td>総単位数</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>うち企業等と連携した実習・実習・実技の単位数</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>うち企業等と連携した演習の単位数</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>うち必修単位数</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>うち企業等と連携した必修の実習・実習・実技の単位数</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>うち企業等と連携した必修の演習の単位数</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)</td> <td>単位</td> </tr> </table>							総授業時数	1,700 単位時間	うち企業等と連携した実習・実習・実技の授業時数	60 単位時間	うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位時間	うち必修授業時数	60 単位時間	うち企業等と連携した必修の実習・実習・実技の授業時数	60 単位時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	60 単位時間	総単位数	単位	うち企業等と連携した実習・実習・実技の単位数	単位	うち企業等と連携した演習の単位数	単位	うち必修単位数	単位	うち企業等と連携した必修の実習・実習・実技の単位数	単位	うち企業等と連携した必修の演習の単位数	単位	(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)	単位
総授業時数	1,700 単位時間																																		
うち企業等と連携した実習・実習・実技の授業時数	60 単位時間																																		
うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位時間																																		
うち必修授業時数	60 単位時間																																		
うち企業等と連携した必修の実習・実習・実技の授業時数	60 単位時間																																		
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位時間																																		
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	60 単位時間																																		
総単位数	単位																																		
うち企業等と連携した実習・実習・実技の単位数	単位																																		
うち企業等と連携した演習の単位数	単位																																		
うち必修単位数	単位																																		
うち企業等と連携した必修の実習・実習・実技の単位数	単位																																		
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	単位																																		
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)	単位																																		
教員の属性(専任教員について記入)	<table border="1"> <tr> <td>① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者</td> <td>(専修学校設置基準第41条第1項第1号)</td> <td>3 人</td> </tr> <tr> <td>② 学士の学位を有する者等</td> <td>(専修学校設置基準第41条第1項第2号)</td> <td>2 人</td> </tr> <tr> <td>③ 高等学校教諭等経験者</td> <td>(専修学校設置基準第41条第1項第3号)</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>④ 修士の学位又は専門職学位</td> <td>(専修学校設置基準第41条第1項第4号)</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>⑤ その他</td> <td>(専修学校設置基準第41条第1項第5号)</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>5 人</td> </tr> <tr> <td>上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数</td> <td></td> <td>5 人</td> </tr> </table>							① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	(専修学校設置基準第41条第1項第1号)	3 人	② 学士の学位を有する者等	(専修学校設置基準第41条第1項第2号)	2 人	③ 高等学校教諭等経験者	(専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0 人	④ 修士の学位又は専門職学位	(専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0 人	⑤ その他	(専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0 人	計		5 人	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		5 人							
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	(専修学校設置基準第41条第1項第1号)	3 人																																	
② 学士の学位を有する者等	(専修学校設置基準第41条第1項第2号)	2 人																																	
③ 高等学校教諭等経験者	(専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0 人																																	
④ 修士の学位又は専門職学位	(専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0 人																																	
⑤ その他	(専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0 人																																	
計		5 人																																	
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		5 人																																	

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

ビューティアドバイザー、ネイリストとして働くように「マイク」、「ネイル」に関する基礎知識から実践的な技術を身につけた人材を養成するのが学科の特色です。また、お客様に対する接遇等の現場対応力を身につけるためのカリキュラムを実施します。

さらに、学内で学んだ知識や技術をもとに、学生の就職希望に応じた施設で実習を行う。実習の体験を通して学生は学内における自らの学びを確認し評価するとともに、実習で得た課題を実習後の学びに繋げていく。また、現場で働くビューティアドバイザー、ネイリストの姿を通して職業人としての自らの将来像を具体化させるとともに、変化する社会に対応して自ら学び続ける姿勢を養う職業教育の機会とする。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

カリキュラム編成や授業科目の内容・授業方法の充実・改善、実施イベントの改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置する。美容業界団体や美容関連企業、サロンに依頼した委員からの意見・要望を伺う。学校は「教育課程編成委員会」での意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善やイベント内容の改善を教務部が主体となり行い、新たなカリキュラム案、イベント案を作成しそれを校長が決定する。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
野村 慎二	日本ヘアカラー協会 理事	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	①
河端 公美子	河端着付教室 代表	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③
高畠 育代	有限会社カールズジャパン 専務取締役	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③
小野 和則	株式会社セレクトビューティー 執行役員	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③
中村 博子	株式会社 麻町リバース 副院長	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③
西村 恭	ホテルニューオータニ大阪 管理部管理課 総務 支配人	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③
藤明 洋和	香川県健康福祉部生活衛生課 課長	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「ー」を記載してください。)

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (10月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年10月30日 14:00～15:30

第2回 令和7年3月14日 14:00～15:00

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

昨年度から引き続き、フットケアに関する教育や、幅広い年齢層の方への対応については、強化していく。インバウンドの増加に伴い、アジア系のお客さまが県内でも増加しているとのご意見を受け、その対応についても授業で取り入れていく。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学内で身につけた知識、技術を企業等と連携した取り組みを通して評価し、より一層のスキルアップに繋がるようにする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

学内で身につけた知識、技術が企業等と連携した取り組みを通じて、より一層のスキルアップに繋がるようにする。実務実

習(インターンシップ)を実施する。学生は実務実習先で接客マナー等を身に付け、サロン担当者に評価をお願いする。実習終了時にはサロン担当者の意見や実習評価をふまえ、担当教員が評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
実務実習	3.【校外】企業内実習(4に該当するものを除く。)	美容業の基礎となる挨拶、接客マナーを職場を通して実践し学習する	株式会社イプサ・コーセー化粧品販売株式会社・ゲラン株式会社・株式会社高松三越・有限会社カールズネイル・NailSalonFeminine他
メイク	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	プロのメイクアップアーティストから理論に基づく技術を学び、また美容部員の体験談を通して社会での役割ややりがいを理解する	株式会社エキップ(RMK)
メイク	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	現役のメイクアップアーティストから、人気の韓国メイクを直接学ぶことで、自己表現の幅を広げるとともに、将来に活かせる実践的な技術を身につける	ピアス株式会社 ケサランパサンクリエイションズ

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教員は教職員研修規程に従い、ビューティ業界で必要とされる資質、知識、技能について学生が習得できるよう、学内だけではなく、学外の研修等に参加することで自らの知識、技能の幅を広げ、それを教育の現場に反映させていくこととする。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	JNA 化学物質管理指導員講習会	連携企業等:	NPO法人日本ネイリスト協会
期間:	令和6年4月24日(水)	対象:	学科教員
内容	JNA 化学物質管理自主基準に基づいた化学物質管理者として必要な知識と化学物質の取り扱いについて		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	授業改善サポーター養成講座	連携企業等:	一般社団法人全国専門学校教育研究会
期間:	令和6年11月5日(金)～令和6年11月26日(火)	対象:	教職員
内容	授業シラバス改善提案、グループディスカッション		

研修名:	非認知能力養成研究会研究会勉強会	連携企業等:	穴吹学園(高松)
期間:	令和6年9月12日(木)	対象:	教職員
内容	非認知行動指標について		

研修名:	「クレドを活用して理想の授業を実現する」	連携企業等:	香川県専修学校各種学校連合会
期間:	令和7年2月19日(水)	対象:	教職員
内容	理想の授業とは何かを考え、それを実現するためのクレドを作成する。		

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	JNA認定講師勉強会(オンライン)	連携企業等:	日本ネイリスト協会
期間:	令和8年2月	対象:	学科教員
内容	ネイリスト検定試験について		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	非認知能力養成勉強会	連携企業等:	穴吹学園(本部)
期間:	令和7年5月19日(月)	対象:	教職員
内容	非認知能力の伸ばし方		

研修名： 学習評価研修(基礎編)	連携企業等： 穴吹学園(本部)																																												
期間： 令和7年7月14日(月)	対象： 教職員																																												
内容 評価方法と基準についての基礎知識																																													
研修名： 学習評価研修(応用編)	連携企業等： 穴吹学園(本部)																																												
期間： 令和7年9月1日(月)	対象： 教職員																																												
内容 評価方法に基づいた授業展開																																													
4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係																																													
(1)学校関係者評価の基本方針 教育活動の観察や意見交換を通じて、学校運営及び教育活動等の評価を行い、その結果に基づき改善を図ることでよい人材の育成に努める。																																													
(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>ガイドラインの評価項目</th><th>学校が設定する評価項目</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)教育理念・目標</td><td>教育理念、目的、育成人材像が定められているか、等</td></tr> <tr> <td>(2)学校運営</td><td>教育理念に沿った運営方針が策定されているか、等</td></tr> <tr> <td>(3)教育活動</td><td>教育理念等に沿った教育課程の明文化、実施ができているか、等</td></tr> <tr> <td>(4)学修成果</td><td>資格取得向上、就職率向上が図られているか、等</td></tr> <tr> <td>(5)学生支援</td><td>退学率の低減、就職等進路支援の充実は図られているか、等</td></tr> <tr> <td>(6)教育環境</td><td>設備、教育環境は整っているか、防災・安全管理の体制は十分か、等</td></tr> <tr> <td>(7)学生の受入れ募集</td><td>学生募集は積極的・効率的に実施されているか。納付金の取り扱いは適切か、等</td></tr> <tr> <td>(8)財務</td><td>財務基盤は安定しているか。財務情報の公開は適切か、等</td></tr> <tr> <td>(9)法令等の遵守</td><td>法務順守と適正な運営がなされているか。自己評価を実施し公開しているか、等</td></tr> <tr> <td>(10)社会貢献・地域貢献</td><td>学校の教育資源や施設を利用し社会貢献・地域貢献ができているか、等</td></tr> <tr> <td>(11)国際交流</td><td></td></tr> </tbody> </table>		ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目	(1)教育理念・目標	教育理念、目的、育成人材像が定められているか、等	(2)学校運営	教育理念に沿った運営方針が策定されているか、等	(3)教育活動	教育理念等に沿った教育課程の明文化、実施ができているか、等	(4)学修成果	資格取得向上、就職率向上が図られているか、等	(5)学生支援	退学率の低減、就職等進路支援の充実は図られているか、等	(6)教育環境	設備、教育環境は整っているか、防災・安全管理の体制は十分か、等	(7)学生の受入れ募集	学生募集は積極的・効率的に実施されているか。納付金の取り扱いは適切か、等	(8)財務	財務基盤は安定しているか。財務情報の公開は適切か、等	(9)法令等の遵守	法務順守と適正な運営がなされているか。自己評価を実施し公開しているか、等	(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を利用し社会貢献・地域貢献ができているか、等	(11)国際交流																					
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目																																												
(1)教育理念・目標	教育理念、目的、育成人材像が定められているか、等																																												
(2)学校運営	教育理念に沿った運営方針が策定されているか、等																																												
(3)教育活動	教育理念等に沿った教育課程の明文化、実施ができているか、等																																												
(4)学修成果	資格取得向上、就職率向上が図られているか、等																																												
(5)学生支援	退学率の低減、就職等進路支援の充実は図られているか、等																																												
(6)教育環境	設備、教育環境は整っているか、防災・安全管理の体制は十分か、等																																												
(7)学生の受入れ募集	学生募集は積極的・効率的に実施されているか。納付金の取り扱いは適切か、等																																												
(8)財務	財務基盤は安定しているか。財務情報の公開は適切か、等																																												
(9)法令等の遵守	法務順守と適正な運営がなされているか。自己評価を実施し公開しているか、等																																												
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を利用し社会貢献・地域貢献ができているか、等																																												
(11)国際交流																																													
※(10)及び(11)については任意記載。																																													
(3)学校関係者評価結果の活用状況 学校関係者評価委員からのコメントや意見をもとに、各項目の改善に取り組んでいる。																																													
(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>名 前</th><th>所 属</th><th>任 期</th><th>種 別</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>野村 慎二</td><td>日本ヘアカラー協会</td><td>令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)</td><td>業界団体 委員</td></tr> <tr> <td>河端 公美子</td><td>河端着付教室</td><td>令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)</td><td>企業等委 員</td></tr> <tr> <td>高畠 育代</td><td>有限会社カールズジャパン</td><td>令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)</td><td>企業等委 員</td></tr> <tr> <td>小野 和則</td><td>株式会社セレクトビューティー</td><td>令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)</td><td>企業等委 員</td></tr> <tr> <td>中村 博子</td><td>株式会社 麻町リバース</td><td>令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)</td><td>企業等委 員</td></tr> <tr> <td>西村 恭</td><td>ホテルニューオータニ大阪 管理部管理課 総務 支配人</td><td>令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)</td><td>企業等委 員</td></tr> <tr> <td>矢野 理菜</td><td>Chrame in the life</td><td>令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)</td><td>卒業生代 表委員</td></tr> <tr> <td>土居 真也</td><td>香川県立津田高等学校</td><td>令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)</td><td>高校関係 委員</td></tr> <tr> <td>西本 泰三</td><td>英明高等学校</td><td>令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)</td><td>高校関係 委員</td></tr> <tr> <td>落合 朱美</td><td>専門学校穴吹ビューティカレッジ保護者会</td><td>令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)</td><td>保護者代 表委員</td></tr> </tbody> </table>		名 前	所 属	任 期	種 別	野村 慎二	日本ヘアカラー協会	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	業界団体 委員	河端 公美子	河端着付教室	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	企業等委 員	高畠 育代	有限会社カールズジャパン	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	企業等委 員	小野 和則	株式会社セレクトビューティー	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	企業等委 員	中村 博子	株式会社 麻町リバース	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	企業等委 員	西村 恭	ホテルニューオータニ大阪 管理部管理課 総務 支配人	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	企業等委 員	矢野 理菜	Chrame in the life	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	卒業生代 表委員	土居 真也	香川県立津田高等学校	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	高校関係 委員	西本 泰三	英明高等学校	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	高校関係 委員	落合 朱美	専門学校穴吹ビューティカレッジ保護者会	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	保護者代 表委員
名 前	所 属	任 期	種 別																																										
野村 慎二	日本ヘアカラー協会	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	業界団体 委員																																										
河端 公美子	河端着付教室	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	企業等委 員																																										
高畠 育代	有限会社カールズジャパン	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	企業等委 員																																										
小野 和則	株式会社セレクトビューティー	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	企業等委 員																																										
中村 博子	株式会社 麻町リバース	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	企業等委 員																																										
西村 恭	ホテルニューオータニ大阪 管理部管理課 総務 支配人	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	企業等委 員																																										
矢野 理菜	Chrame in the life	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	卒業生代 表委員																																										
土居 真也	香川県立津田高等学校	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	高校関係 委員																																										
西本 泰三	英明高等学校	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	高校関係 委員																																										
落合 朱美	専門学校穴吹ビューティカレッジ保護者会	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	保護者代 表委員																																										
※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等																																													

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://web.anabuki-college.net/content/uploads/auk-rating-r3.pdf>

公表時期: 令和7年11月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校関係者評価委員からのコメントや意見をもとに、各項目の改善に取り組んでいる。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画、等
(2)各学科等の教育	定員数、入学、卒業者数、カリキュラム、資格取得の状況、等
(3)教職員	教職員の概要、等
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況、職業支援等への取組状況、等
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況、課外活動の取組、等
(6)学生の生活支援	学生支援の取組状況、等
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金・就学支援(奨学金、授業料免除等の案内)、等
(8)学校の財務	事業報告書、学校関係者評価報告書、等
(9)学校評価	自己評価報告書、学校関係者評価報告書、等
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://web.anabuki-college.net/content/uploads/auk-rating-r3.pdf>

公表時期: 令和7年11月1日

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 ビューティコーディネーター科)													
必修	分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所	教員	企業等との連携
	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技			
1 ○			メイク	スキンケア、メイクアップの基礎知識と技術を養う	1通	120	○		○		○	○	
2 ○			ネイル	ネイルに関する知識と技術を学ぶ・ネイルケア、カラーリング、チップラップ技術を学ぶ	1通	120	○		○		○	○	
3 ○			クリエイティブメイク	実践に生かせるメイクの応用を学ぶ・ヘアの基礎とフォトコンテストの撮影を学ぶ	1通	60	○		○		○	○	
4 ○			ネイルアート	ネイルアートに関する基本的技術を学び、ネイリスト検定3級と2級の課題アートを制作・サロンワークに向けたアート技術の習得・ネイルアート作品の制作	1通	60	○		○		○	○	
5 ○			エステティック	全身美容(エステ)についての魅力や効果を学ぶ・美容、健康、癒しについて探求する・肌タイプや体型(体質)別のトリートメント方法を学び理解を深める	1通	60	○		○		○	○	
6 ○			ジェルネイル	ジェルネイルに関する基礎理論と技術を学ぶ	1後	50	○		○		○	○	
7 ○			アロマテラピー	アロマテラピーの基礎知識を身につけ、アロマテラピー検定内容を理解する・心身の健康と美に役立つアロマテラピーを理解し、アロマテラピーを実践する力を養う	1通	46	○	○			○	○	
8 ○			パーソナルカラー	美容業界で活用できる色彩知識とパーソナルカラーの基礎知識と色を見分けるポイントを学ぶ	1後	46	○	○			○	○	
9 ○			皮膚科学	皮膚の働きと仕組みを理解し、肌を美しく健康に保つためのスキンケア方法を学ぶ・皮膚の状態を把握し、お客様に適切なアドバイスができる知識を養う	1通	46	○	○			○	○	
10 ○			化粧品学	化粧品についての基礎知識を学習する	1通	50	○	○			○	○	

11	○		サロンワーク	サロンワークを通じて外部のお客様と接することにより技術だけでなく接客マナーを含めたサロンワーク技術を学ぶ	1 後	30	○		○	○	○	○	
12	○		社会人基礎講座	社会人になるための人格形成と就職活動に必要な知識を学ぶ・実務実習、就職活動に向けての事前準備	1 通	40	○	○		○	○		
13	○		接客マナー	ビューティアドバイザーやネイリストとしてだけでなく、一社会人としての心構えと接客マナーを兼ね備えた人材となるため、基本的なマナーの知識と技術を学ぶ・サービス接遇検定準1級を取得する	1 通	60	○	○		○	○		
14	○		実務実習	美容業の基礎となる挨拶、接客マナーを職場を通して実践し学習する	1 後	60	○			○	○	○	○
15	○		メイク	スキンケア、メイクアップの応用を学ぶ・美容部員としての販売技術や説明能力を習得	2 通	120	○		○	○	○		
16	○		ネイル	ネイルに関する専門的知識と技術、ペディキュア技術を含めた総合的知識、サロンワークで通用するネイル技術全般を学ぶ・ネイルアート作品制作	2 通	90	○		○	○	○		
17	○		クリエイティブメイク	実際に活かせるメイクの応用を学ぶ・ヘアーメイクの基礎とフォトコンテストの撮影を学ぶ	2 通	120	○		○	○	○		
18	○		アクリルネイル	スカルプチュアネイルに関する知識と技術を学ぶ・ネイリスト検定1級のネイルイクステンション(スカルプチュアネイル、チップオーバーレイ)をモデルハンドを使って作る	2 通	150	○		○	○	○		
19	○		メイクセラピー	メイクセラピーの概念を理解する・関連業界でセカンドライセンスとしてメイクセラピーを活用できる知識と技術を養う	2 通	76	○		○	○	○		
20	○		ジェルネイル	ジェルグラデーション、ジェルフレンチカラーリング、ジェルイクステンション技術を学ぶ	2 通	70	○		○	○	○		
21	○		パーソナルカラー	ジェルグラデーション、ジェルフレンチカラーリング、ジェルイクステンション技術を学ぶ	2 通	44	○		○	○	○	○	
22	○		サロン経営学	人の気持ちや行動心理、資産管理、時間の使い方などのマネジメント法を学ぶ・サロン開店から経営方針について基本的な考え方や具体的手段について学ぶ・サロンの売上アップにつながる経営知識と実践応用を養う	2 前	30	○		○	○	○		
23	○		化粧品学	化粧品の成分、製品の種類や働きについて学ぶ・化粧品の歴史、法律などの幅広い知識を身につける	2 通	56	○		○	○	○	○	

24	○			サロンワーク	サロンワークを通じて外部のお客様と接することにより技術だけでなく接客マナーを含めたサロンワーク技術を学ぶ	2 通	60	○		○	○	○	○	
25	○			社会人基礎講座	社会人として必要とされるスキルを学ぶ・就職に向けての事前準備	2 通	36	○		○	○	○	○	
合計						25	科目			25	単位	(単位時間)		

卒業要件及び履修方法					授業期間等				
卒業要件：全科目の成績がC評価以上及び出席率が85%以上であること					1学年の学期区分		2期		
履修方法：上記条件を満たすこと					1学期の授業期間		20週		

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地																															
専門学校穴吹ビューティカレッジ		平成14年3月14日	森川 和哉	〒 760-0020 (住所) 香川県高松市錦町1-3-5 (電話) 087-823-6600																															
設置者名		設立認可年月日	代表者名	所在地																															
学校法人穴吹学園		平成3年4月1日	穴吹 忠嗣	〒 760-0020 (住所) 香川県高松市錦町1-22-23 (電話) 087-823-5700																															
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度																														
文化・教養	文化教養専門課程	トータルエステティック学科	平成16(2004)年度	-	平成26(2014)年度																														
学科の目的	エステティックの知識と技術を習得し、さらに、社会的価値を見出すことのできる人間力を身につける。 また、女性らしい立ち居振る舞いを身につけ、おもてなしの心を養う。																																		
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	一般社団法人日本エステティック協会の認定校で1000時間コースを導入。美容・健康・癒しを学び、エステに関する資格(認定上級エステティシャン、認定エステティシャン)をはじめ、アロマやメイク・ネイルに関する幅広い資格(アロマテラピー検定1級、化粧品検定1級、マイクセラピー検定3級、ジェルネイル検定中級)取得を目指す。令和6年度退学率8.8%																																		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																												
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入 1,710 単位時間	650 単位時間	1,020 単位時間	40 単位時間	0 単位時間	0 単位時間																												
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)	中退率	就職等の状況																														
30 人	26 人	0 人	0 %	0 %																															
就職等の状況	■卒業者数(C) : 16 人																																		
	■就職希望者数(D) : 16 人																																		
	■就職者数(E) : 16 人																																		
	■地元就職者数(F) : 6 人																																		
	■就職率(E/D) : 100 %																																		
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E) : 38 %																																		
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C) : 100 %																																		
	■進学者数 : 0 人																																		
	■その他																																		
特になし																																			
(令和 6 年度卒業者に関する令和 7 年 5 月 1 日時点の情報)																																			
■主な就職先、業界等 (令和6年度卒業生) TBCグループ株式会社、株式会社ソシエ・ワールド、株式会社不二ビューティ、株式会社スリム・ビューティハウス、株式会社ミス・パリ																																			
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 株式会社麹町リバース 受審年月: R6年11月 評価結果を掲載したホームページURL: https://web.anabuki-college.net/content/uploads/aukrating-r3.pdf																																		
当該学科のホームページURL	https://web.anabuki-college.net/department/beauty/total-esthetic/																																		
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	<p>(A : 単位時間による算定)</p> <table border="1"> <tr> <td>総授業時数</td> <td>1,710 単位時間</td> </tr> <tr> <td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td> <td>40 単位時間</td> </tr> <tr> <td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td> <td>0 単位時間</td> </tr> <tr> <td>うち必修授業時数</td> <td>40 単位時間</td> </tr> <tr> <td> うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td> <td>40 単位時間</td> </tr> <tr> <td> うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td> <td>0 単位時間</td> </tr> <tr> <td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td> <td>40 単位時間</td> </tr> </table> <p>(B : 単位数による算定)</p> <table border="1"> <tr> <td>総単位数</td> <td>0 単位</td> </tr> <tr> <td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数</td> <td>0 単位</td> </tr> <tr> <td>うち企業等と連携した演習の単位数</td> <td>0 単位</td> </tr> <tr> <td>うち必修単位数</td> <td>0 単位</td> </tr> <tr> <td> うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数</td> <td>0 単位</td> </tr> <tr> <td> うち企業等と連携した必修の演習の単位数</td> <td>0 単位</td> </tr> <tr> <td>(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)</td> <td>0 単位</td> </tr> </table>							総授業時数	1,710 単位時間	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	40 単位時間	うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位時間	うち必修授業時数	40 単位時間	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	40 単位時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	40 単位時間	総単位数	0 単位	うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	0 単位	うち企業等と連携した演習の単位数	0 単位	うち必修単位数	0 単位	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	0 単位	うち企業等と連携した必修の演習の単位数	0 単位	(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)	0 単位
総授業時数	1,710 単位時間																																		
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	40 単位時間																																		
うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位時間																																		
うち必修授業時数	40 単位時間																																		
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	40 単位時間																																		
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位時間																																		
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	40 単位時間																																		
総単位数	0 単位																																		
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	0 単位																																		
うち企業等と連携した演習の単位数	0 単位																																		
うち必修単位数	0 単位																																		
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	0 単位																																		
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	0 単位																																		
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)	0 単位																																		
教員の属性(専任教員について記入)	<table border="1"> <tr> <td>① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者</td> <td>(専修学校設置基準第41条第1項第1号)</td> <td>2 人</td> </tr> <tr> <td>② 学士の学位を有する者等</td> <td>(専修学校設置基準第41条第1項第2号)</td> <td>2 人</td> </tr> <tr> <td>③ 高等学校教諭等経験者</td> <td>(専修学校設置基準第41条第1項第3号)</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>④ 修士の学位又は専門職学位</td> <td>(専修学校設置基準第41条第1項第4号)</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>⑤ その他</td> <td>(専修学校設置基準第41条第1項第5号)</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>4 人</td> </tr> <tr> <td>上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数</td> <td></td> <td>4 人</td> </tr> </table>							① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	(専修学校設置基準第41条第1項第1号)	2 人	② 学士の学位を有する者等	(専修学校設置基準第41条第1項第2号)	2 人	③ 高等学校教諭等経験者	(専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0 人	④ 修士の学位又は専門職学位	(専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0 人	⑤ その他	(専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0 人	計		4 人	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		4 人							
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	(専修学校設置基準第41条第1項第1号)	2 人																																	
② 学士の学位を有する者等	(専修学校設置基準第41条第1項第2号)	2 人																																	
③ 高等学校教諭等経験者	(専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0 人																																	
④ 修士の学位又は専門職学位	(専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0 人																																	
⑤ その他	(専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0 人																																	
計		4 人																																	
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		4 人																																	

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

エステティシャン、セラピストとして働くように「美容」、「健康」、「癒し」に関する基礎知識から実践的な技術を身につけた人材を養成するのが学科の特色です。また、お客様に対する接遇等の現場対応力を身につけるためのカリキュラムを実施します。さらに、学内で学んだ知識や技術をもとに、学生の就職希望に応じた施設で実習を行う。実習の体験を通して学生は学内における自らの学びを確認し評価するとともに、実習で得た課題を実習後の学びに繋げていく。また、現場で働くエステティシャン、セラピストの姿を通して職業人としての自らの将来像を具体化するとともに、変化する社会に対応して自ら学び続ける姿勢を養う職業教育の機会とする。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

カリキュラム編成や授業科目の内容・授業方法の充実・改善、実施イベントの改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置する。美容業界団体や美容関連企業、サロンに依頼した委員からの意見・要望を伺う。学校は「教育課程編成委員会」での意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善やイベント内容の改善を教務部が主体となり行い、新たなカリキュラム案、イベント案を作成しそれを校長が決定する。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
野村 慎二	日本ヘアカラー協会 理事	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	①
河端 公美子	河端着付教室 代表	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③
高畠 育代	有限会社カールズジャパン 専務取締役	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③
小野 和則	株式会社セレクトビューティー 執行役員	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③
中村 博子	株式会社 麻町リバース 副院長	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③
西村 恒	ホテルニューオータニ大阪 管理部管理課 総務 支配人	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③
藤明 洋和	香川県健康福祉部生活衛生課 課長	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「-」を記載してください。)

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (10月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年10月30日 14:00～15:30

第2回 令和7年3月14日 14:00～15:00

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

技術力はもちろん、電話・クレーム対応を含めた接客力やコミュニケーション力等、即戦力につながる応用力を磨いてほしいとのご意見があり、今後のサロンワーク実習に向けて取り組んでいきたい。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学内で身につけた知識、技術を企業等と連携した取り組みを通して評価し、より一層のスキルアップに繋がるようにする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

学内で身に付けた知識、技術が美容サロン等と連携した取り組みを通じて、より一層のスキルアップに繋がるようにする。実務実習（インターンシップ）を実施する。学生は実務実習先で接客マナー等を身に付け、サロン担当者に評価をお願いする。実習終了時にはサロン担当者の意見や実習評価をふまえ、担当教員が評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
実務実習	3.【校外】企業内実習（4に該当するものを除く。）	美容業の基礎となる挨拶、接客マナーを職場を通して実践し学習する	（株）クイール、都楽鍼灸院、TBCグループ（株）、（株）ソシエ・ワールド、（株）不ニビューティ、（株）スリムビューティハウス
ボディエステ・脱毛	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	プロのエステティシャンから理論に基づく技術を学び、エステティシャンの体験談を通して社会での役割ややりがいを理解する	（株）クイール、都楽鍼灸院
アロマテラピー	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	サロンオーナ兼アロマセラピストから、アロマ・セラピー概論について直接学ぶことで、将来に活かせる実践的な技術や知識を身につける	リラクゼーションサロンマール

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教員は教職員研修規程に従い、エステ・セラピスト業界で必要とされる資質、知識、技能について学生が習得できるよう、学内だけではなく、学外の研修等に参加することで自らの知識、技能の幅を広げ、それを教育の現場に反映させていくこととする。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名： AJESTHE Webセミナー	連携企業等： 日本エステティック協会
期間： 令和6年7月23日(火)	対象： 学科教員
内容 施術ポイントと解剖生理学と連携させた指導方法	

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名： ICT活用中級研修	連携企業等： 穴吹学園(本部)
期間： 令和6年4月3日(水)	対象： 教職員
内容 ICTを活用した授業運営について	

研修名： 非認知能力報告会	連携企業等： 穴吹学園(本部)
期間： 令和6年8月6日(火)	対象： 教職員
内容 非認知能力について、各校の報告会	

研修名： 非認知能力養成勉強会	連携企業等： 穴吹学園(本部)
期間： 令和6年9月12日(木)	対象： 教職員
内容 非認知能力の伸ばし方	

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名： AEA認定講師勉強会	連携企業等： 日本エステティック業協会
期間： 令和7年8月5日(火)	対象： 学科教員
内容 コンサルテーションシートの評価ポイント、次世代の即戦力を育てるために	

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名： 非認知能力養成勉強会	連携企業等： 穴吹学園(本部)
期間： 令和7年5月19日(月)	対象： 教職員
内容 非認知能力の伸ばし方	

研修名： 学習評価研修(基礎編)	連携企業等： 穴吹学園(本部)
------------------	-----------------

期間:	令和7年7月14日(月)	対象: 教職員																																												
内容	評価方法と基準についての基礎知識																																													
研修名:	学習評価研修(応用編)	連携企業等: 穴吹学園(本部)																																												
期間:	令和7年9月1日(月)	対象: 教職員																																												
内容	評価方法に基づいた授業展開																																													
4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係																																														
(1)学校関係者評価の基本方針 教育活動の観察や意見交換を通じて、学校運営及び教育活動等の評価を行い、その結果に基づき改善を図ることでよい人材の育成に努める。																																														
(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>ガイドラインの評価項目</th><th>学校が設定する評価項目</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)教育理念・目標</td><td>教育理念、目的、育成人材像が定められているか、等</td></tr> <tr> <td>(2)学校運営</td><td>教育理念に沿った運営方針が策定されているか、等</td></tr> <tr> <td>(3)教育活動</td><td>教育理念等に沿った教育課程の明文化、実施ができているか、等</td></tr> <tr> <td>(4)学修成果</td><td>資格取得向上、就職率向上が図られているか、等</td></tr> <tr> <td>(5)学生支援</td><td>退学率の低減、就職等進路支援の充実は図られているか、等</td></tr> <tr> <td>(6)教育環境</td><td>設備、教育環境は整っているか、防災・安全管理の体制は十分か、等</td></tr> <tr> <td>(7)学生の受入れ募集</td><td>学生募集は積極的・効率的に実施されているか。納付金の取り扱いは適切か、等</td></tr> <tr> <td>(8)財務</td><td>財務基盤は安定しているか。財務情報の公開は適切か、等</td></tr> <tr> <td>(9)法令等の遵守</td><td>法務順守と適正な運営がなされているか。自己評価を実施し公開しているか、等</td></tr> <tr> <td>(10)社会貢献・地域貢献</td><td>学校の教育資源や施設を利用し社会貢献・地域貢献ができているか、等</td></tr> <tr> <td>(11)国際交流</td><td></td></tr> </tbody> </table>			ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目	(1)教育理念・目標	教育理念、目的、育成人材像が定められているか、等	(2)学校運営	教育理念に沿った運営方針が策定されているか、等	(3)教育活動	教育理念等に沿った教育課程の明文化、実施ができているか、等	(4)学修成果	資格取得向上、就職率向上が図られているか、等	(5)学生支援	退学率の低減、就職等進路支援の充実は図られているか、等	(6)教育環境	設備、教育環境は整っているか、防災・安全管理の体制は十分か、等	(7)学生の受入れ募集	学生募集は積極的・効率的に実施されているか。納付金の取り扱いは適切か、等	(8)財務	財務基盤は安定しているか。財務情報の公開は適切か、等	(9)法令等の遵守	法務順守と適正な運営がなされているか。自己評価を実施し公開しているか、等	(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を利用し社会貢献・地域貢献ができているか、等	(11)国際交流																					
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目																																													
(1)教育理念・目標	教育理念、目的、育成人材像が定められているか、等																																													
(2)学校運営	教育理念に沿った運営方針が策定されているか、等																																													
(3)教育活動	教育理念等に沿った教育課程の明文化、実施ができているか、等																																													
(4)学修成果	資格取得向上、就職率向上が図られているか、等																																													
(5)学生支援	退学率の低減、就職等進路支援の充実は図られているか、等																																													
(6)教育環境	設備、教育環境は整っているか、防災・安全管理の体制は十分か、等																																													
(7)学生の受入れ募集	学生募集は積極的・効率的に実施されているか。納付金の取り扱いは適切か、等																																													
(8)財務	財務基盤は安定しているか。財務情報の公開は適切か、等																																													
(9)法令等の遵守	法務順守と適正な運営がなされているか。自己評価を実施し公開しているか、等																																													
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を利用し社会貢献・地域貢献ができているか、等																																													
(11)国際交流																																														
※(10)及び(11)については任意記載。																																														
(3)学校関係者評価結果の活用状況 学校関係者評価委員からのコメントや意見をもとに、各項目の改善に取り組んでいる。																																														
(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>名 前</th><th>所 属</th><th>任期</th><th>種別</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>野村 慎二</td><td>日本ヘアカラー協会</td><td>令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)</td><td>業界団体委員</td></tr> <tr> <td>河端 公美子</td><td>河端着付教室</td><td>令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)</td><td>企業等委員</td></tr> <tr> <td>高畠 育代</td><td>有限会社カールズジャパン</td><td>令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)</td><td>企業等委員</td></tr> <tr> <td>小野 和則</td><td>株式会社セレクトビューティー</td><td>令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)</td><td>企業等委員</td></tr> <tr> <td>中村 博子</td><td>株式会社 麻町リバース</td><td>令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)</td><td>企業等委員</td></tr> <tr> <td>西村 恒</td><td>ホテルニューオータニ大阪 管理部管理課 総務 支配人</td><td>令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)</td><td>企業等委員</td></tr> <tr> <td>矢野 理菜</td><td>Chrame in the life</td><td>令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)</td><td>卒業生代表委員</td></tr> <tr> <td>土居 真也</td><td>香川県立津田高等学校</td><td>令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)</td><td>高校関係委員</td></tr> <tr> <td>西本 泰三</td><td>英明高等学校</td><td>令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)</td><td>高校関係委員</td></tr> <tr> <td>落合 朱美</td><td>専門学校穴吹ビューティカレッジ保護者会</td><td>令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)</td><td>保護者代表委員</td></tr> </tbody> </table>			名 前	所 属	任期	種別	野村 慎二	日本ヘアカラー協会	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	業界団体委員	河端 公美子	河端着付教室	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	企業等委員	高畠 育代	有限会社カールズジャパン	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	企業等委員	小野 和則	株式会社セレクトビューティー	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	企業等委員	中村 博子	株式会社 麻町リバース	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	企業等委員	西村 恒	ホテルニューオータニ大阪 管理部管理課 総務 支配人	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	企業等委員	矢野 理菜	Chrame in the life	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	卒業生代表委員	土居 真也	香川県立津田高等学校	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	高校関係委員	西本 泰三	英明高等学校	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	高校関係委員	落合 朱美	専門学校穴吹ビューティカレッジ保護者会	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	保護者代表委員
名 前	所 属	任期	種別																																											
野村 慎二	日本ヘアカラー協会	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	業界団体委員																																											
河端 公美子	河端着付教室	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	企業等委員																																											
高畠 育代	有限会社カールズジャパン	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	企業等委員																																											
小野 和則	株式会社セレクトビューティー	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	企業等委員																																											
中村 博子	株式会社 麻町リバース	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	企業等委員																																											
西村 恒	ホテルニューオータニ大阪 管理部管理課 総務 支配人	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	企業等委員																																											
矢野 理菜	Chrame in the life	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	卒業生代表委員																																											
土居 真也	香川県立津田高等学校	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	高校関係委員																																											
西本 泰三	英明高等学校	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	高校関係委員																																											
落合 朱美	専門学校穴吹ビューティカレッジ保護者会	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	保護者代表委員																																											
※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等																																														

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://web.anabuki-college.net/content/uploads/auk-rating-r3.pdf>

公表時期: 令和7年11月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の関係者に学校運営及び教育活動等の理解を深めて頂くため、積極的に情報を公開し説明に取り組む。情報公開のツールとして、ホームページ、学校パンフレット、募集要項等を利用する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画、等
(2)各学科等の教育	定員数、入学、卒業者数、カリキュラム、資格取得の状況、等
(3)教職員	教職員の概要、等
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況、職業支援等への取組状況、等
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況、課外活動の取組、等
(6)学生の生活支援	学生支援の取組状況、等
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金・就学支援(奨学金、授業料免除等の案内)、等
(8)学校の財務	事業報告書、学校関係者評価報告書、等
(9)学校評価	自己評価報告書、学校関係者評価報告書、等
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://web.anabuki-college.net/disclosure/#beauty>

公表時期: 令和7年11月1日

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 トータルエステティック学科)												
必修	分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所	教員	企業等との連携
	選択必修	自由選択						講義	演習			
1	○		フェイシャルエステ	エステティシャンセンター試験を合格し認定エステティシャン資格取得を目指す フェイシャルエステの正しい知識と理論に裏付けされた基本的な技術の習得	1通	126	4		○	○	○	
2	○		ボディエステ	エステティシャンセンター試験を合格し認定エステティシャン資格取得を目指す ボディエステの正しい知識と理論に裏付けされた基本的な技術の習得	1通	114	3		○	○	○	
3	○		スパトリートメント	スパの理論から実践までを学び、顧客満足を第一に考え適切なカウンセリングと世界の手技を習得	1後	30	1		○	○	○	
4	○		ヨガ・ピラティス	ヨガの「呼吸法」と「正姿勢」を学習 エクササイズ的要素を含め、日常生活において心身のバランスを整える健康法を習得	1通	40	1		○	○	○	
5	○		アロマテラピー	アロマテラピー検定1級合格を目指す 天然の香りの知識を身につけアロマテラピー検定の内容を理解する	1通	46	3	○		○	○	
6	○		脱毛	Ajeste認定上級エステティシャン試験合格レベルを目指す ワックス脱毛の毛髪理論と技術を学ぶ	1後	20	0		○	○	○	
7	○		ネイル	ネイリスト技能検定試験3級合格を目指す ジェルネイル技能検定試験初級合格を目指す	1通	90	3		○	○	○	
8	○		メイク	UTOWA検定合格を目指す スキンケア、メイクの基本知識と技術の習得	1前	30	1		○	○	○	
9	○		ホテルスパ概論	ホテルスタッフとしての接客マナー、飲料、宿泊の業務及びサービスに関する知識を習得	1後	20	1	○		○	○	
10	○		ダイエット概論	理論から実践まで、科学的根拠に基づいた ダイエット知識を習得 顧客一人一人に合わせた健康的な減量プランを作成する	1後	20	1	○		○	○	
11	○		カウンセリング	エステティシャンセンター試験を合格し認定エステティシャン資格取得を目指す カウンセラーとしての心構えを身につける	1前	32	2	○		○	○	
12	○		美容技術理論	エステティシャンセンター試験を合格し認定エステティシャン資格取得を目指す 技術の流れを理解し全身トリートメントの知識とポイントを学ぶ	1通	42	2	○		○	○	

13	○		美容機器コスマ学	エステティシャンセンター試験を合格し認定エステティシャン資格取得を目指す化粧品や美容機器についての基礎知識を学習する	1 後	22	1	○			○		○
14	○		美容栄養学	エステティシャンセンター試験を合格し認定エステティシャン資格取得を目指す栄養と健康、美容に関する基本知識を身につける	1 前	26	1	○			○		○
15	○		皮膚科学	エステティシャンセンター試験を合格し認定エステティシャン資格取得を目指す皮膚の働きと基礎知識を理解する	1 前	40	2	○			○		○
16	○		大脑解剖生理学	エステティシャンセンター試験を合格し認定エステティシャン資格取得を目指す生命活動の基本原理について学ぶ・生命活動とホメオスタシスについて理解する	1 通	48	3	○			○		○
17	○		エステティック学	エステティシャンセンター試験を合格し認定エステティシャン資格取得を目指すエステティックに関する基礎的な知識(概論・関連法規・救急法)を学ぶ	1 前	20	1	○			○		○
18	○		サロン経営学	エステティシャンセンター試験を合格し認定エステティシャン資格取得を目指すサロンの開店、経営方針について学び、サロン経営の目標意識を育てる	1 後	14	0	○			○		○
19	○		社会人基礎講座	サービス接遇検定準1級合格を目指す社会人になるための人格形成と就職活動に必要な知識を学び、企業が求める社会性とコミュニケーション能力を養う	1 通	46	3	○			○		○
20	○		サロンワーク実習	サロンワークを通じて外部のお客様と接することにより技術だけでなく接客マナーを含めたサロンワーク技術を学ぶ	1 後	14	0		○		○		○
21	○		実務実習	美容業の基礎となる挨拶や接客マナーを、実際のサロンで現場を通じて実践する	1 後	20	0			○	○	○	○
22	○		フェイシャルエステ	Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格を目指す応用技術の習得、コンサルテーションの組立てと説明ができる力を養う	2 通	144	5		○		○		○
23	○		ボディエステ	Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格を目指すオリジナルマッサージを組立て、お客様の要望に合わせて施術ができる力を養う	2 通	126	5		○		○		○
24	○		スパトリートメント	顧客の悩みや要望に合わせたカスタマイズトリートメントを習得 専門的で効果的なスパメニューを提案する力を養う	2 通	90	3		○		○		○
25	○		ヨガ・ピラティス	体力、体幹を身につけるエクササイズ的要素を含め、日常生活において心身のバランスを整える健康法を習得	2 前	20	1		○		○		○
26	○		脱毛	Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格を目指すフェイシャルを含む全身脱毛技術テクニックを身につける	2 通	40	2		○		○		○
27	○		ネイル	JNAジェルネイル技能検定中級合格を目指す	2 前	30	1		○		○		○
28	○		メイク	応用メイクを学びフォトコンテスト入賞を目指す	2 通	60	2		○		○		○

29	○		ホテルスパ概論	ホテル実務技能認定試験上級合格を目指す 関連業界の動向を理解しサービスに関する 接客技能を習得	2 後	26	2	○			○	○	
30	○		ダイエット概論	科学的根拠に基づいたパーソナライズされた ダイエットプランの作成と実行する能力 を養う	2 前	26	2	○			○	○	
31	○		セラピー概論	世界各地の伝統療法やリラクゼーション技術 を習得 グローバルな視点から癒しの概念を探求する	2 後	30	1		○		○		○
32	○		美容技術理論	Ajestehe認定上級エステティシャン試験合格 を目指す コンサルテーションシートが作成できる知 識を習得	2 通	48	4	○			○	○	
33	○		美容機器コス メ学	Ajestehe認定上級エステティシャン試験合格 を目指す 日本化粧品検定1級合格を目指す	2 前	24	2	○			○	○	
34	○		美容栄養学	Ajestehe認定上級エステティシャン試験合格 を目指す 栄養と健康、美容に関する知識を身につけ る	2 後	20	2	○			○	○	
35	○		皮膚科学	Ajestehe認定上級エステティシャン試験合格 を目指す 皮膚の働きとしくみを理解しコンサルテー ションシートが作成できる知識を習得	2 前	36	3	○			○	○	
36	○		大脳解剖生理 学	Ajestehe認定上級エステティシャン試験合格 を目指す 人体の構造と働きを理解しコンサルテー ションシートが作成できる知識を習得	2 通	52	3	○			○	○	
37	○		エステティック 学	Ajestehe認定上級エステティシャン試験合格 を目指す エステティックに関する知識(概論・関連 法規・救急法)を学ぶ	2 前	26	2	○			○	○	
38	○		サロン経営学	Ajestehe認定上級エステティシャン試験合格 を目指す スタッフの教育や販売促進、法律、経理に 関する知識を理解し経営的考え方を学ぶ	2 後	16	2	○			○	○	
39	○		サロンワーク 実習	サロンワークを通じて外部のお客様と接す ることにより技術だけでなく接客マナーを 含めたサロンワーク技術を学ぶ	2 後	16	1		○		○	○	
40	○		実務実習	美容業の基礎となる挨拶や接客マナーを、 実際のサロンで現場を通じて実践する	2 前	20	1			○	○	○	○
合計					40	科目	1710 単位 (単位時間)						

卒業要件及び履修方法			授業期間等	
卒業要件：全科目の成績がC評価以上及び出席率が85%以上であること			1学年の学期区分	2期
履修方法：上記条件を満たすこと			1学期の授業期間	20週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																															
専門学校穴吹ビューティカレッジ	平成14年3月14日	森川 和哉	〒 760-0020 (住所) 香川県高松市錦町1-3-5 (電話) 087-823-6600																															
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																															
学校法人穴吹学園	平成3年4月1日	穴吹 忠嗣	〒 760-0020 (住所) 香川県高松市錦町1-22-23 (電話) 087-823-5700																															
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度																													
文化・教養	文化教養専門課程	ブライダル学科	-	-	-																													
学科の目的	ブライダル知識・ブライダル実務を中心とする幅広い専門知識と実践的応用能力を習得させる。2回のブライダルショー・卒業時に実際の結婚式企画・運営を経験することにより、協調性や忍耐力の必要性、おもてなしの心の大切さを体得させ幅広い業界で必要とされる人材を養成する																																	
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	国家検定ブライダルコーディネート技能士3級、ホテルレストランサービス技能検定3級の取得をはじめ、ブライダル系・サービス・マナー系の資格の取得が可能。1年次には沖縄でのリゾート研修や2か所インターンシップを行い、2年次には本物の結婚式をプロデュースすることで高い現場力を身につける。令和6年度退学率2%																																	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験																												
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	1,700 単位時間	680 単位時間	930 単位時間	90 単位時間																												
			単位	単位	単位	単位																												
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)	中退率	就職等の状況																													
40 人	35 人	0 人	0 %	0 %																														
就職等の状況	■卒業者数(C) :	25 人																																
	■就職希望者数(D) :	25 人																																
	■就職者数(E) :	25 人																																
	■地元就職者数(F) :	22 人																																
	■就職率(E/D) :	100 %																																
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E) :	88 %																																
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C) :	100 %																																
	■進学者数 :	0 人																																
	■その他																																	
	(令和 6 年度卒業者に関する令和 7 年 5 月 1 日時点の情報)																																	
■主な就職先、業界等																																		
(令和6年度卒業生) (株)ベルモニー、ザ・チャルシーマツノイパレス、株アケボノスタジオ、(株)フォースアンドカンパニー、(株)ジュエリーピコ、株いちのや、(有)ウェディングボックスみつわ、(株)JR四国ホテルズ、(株)ベルコ アールベルアンジェ高松、アバホテル株、今治互助センター株、SEN KYOTO株、(株)アイアイスズHD、株川六、(株)T																																		
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載			有																														
当該学科のホームページURL	評価団体 : ホテルニューオータニ大阪 受審年月 : R6年11月			評価結果を掲載したホームページURL https://web.anabuki-college.net/content/uploads/aukrating-r3.pdf																														
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A : 単位時間による算定) <table border="1"><tr><td>総授業時数</td><td>1,700 単位時間</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した実習・実習・実技の授業時数</td><td>160 単位時間</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>0 単位時間</td></tr><tr><td>うち必修授業時数</td><td>160 単位時間</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した必修の実習・実習・実技の授業時数</td><td>160 单位時間</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>0 单位時間</td></tr><tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>70 単位時間</td></tr></table> (B : 単位数による算定) <table border="1"><tr><td>総単位数</td><td>0 単位</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した実習・実習・実技の単位数</td><td>0 単位</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した演習の単位数</td><td>0 単位</td></tr><tr><td>うち必修単位数</td><td>0 単位</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した必修の実習・実習・実技の単位数</td><td>0 単位</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の単位数</td><td>0 単位</td></tr><tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)</td><td>0 単位</td></tr></table>						総授業時数	1,700 単位時間	うち企業等と連携した実習・実習・実技の授業時数	160 単位時間	うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位時間	うち必修授業時数	160 単位時間	うち企業等と連携した必修の実習・実習・実技の授業時数	160 单位時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 单位時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	70 単位時間	総単位数	0 単位	うち企業等と連携した実習・実習・実技の単位数	0 単位	うち企業等と連携した演習の単位数	0 単位	うち必修単位数	0 単位	うち企業等と連携した必修の実習・実習・実技の単位数	0 単位	うち企業等と連携した必修の演習の単位数	0 単位	(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)	0 単位
総授業時数	1,700 単位時間																																	
うち企業等と連携した実習・実習・実技の授業時数	160 単位時間																																	
うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位時間																																	
うち必修授業時数	160 単位時間																																	
うち企業等と連携した必修の実習・実習・実技の授業時数	160 单位時間																																	
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 单位時間																																	
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	70 単位時間																																	
総単位数	0 単位																																	
うち企業等と連携した実習・実習・実技の単位数	0 単位																																	
うち企業等と連携した演習の単位数	0 単位																																	
うち必修単位数	0 単位																																	
うち企業等と連携した必修の実習・実習・実技の単位数	0 単位																																	
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	0 単位																																	
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)	0 単位																																	
教員の属性(専任教員について記入)	<table border="1"> <tr><td>① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者</td><td>(専修学校設置基準第41条第1項第1号)</td><td>2 人</td></tr> <tr><td>② 学士の学位を有する者等</td><td>(専修学校設置基準第41条第1項第2号)</td><td>2 人</td></tr> <tr><td>③ 高等学校教諭等経験者</td><td>(専修学校設置基準第41条第1項第3号)</td><td>0 人</td></tr> <tr><td>④ 修士の学位又は専門職学位</td><td>(専修学校設置基準第41条第1項第4号)</td><td>0 人</td></tr> <tr><td>⑤ その他</td><td>(専修学校設置基準第41条第1項第5号)</td><td>0 人</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>4 人</td></tr> <tr> <td colspan="3">上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数</td><td colspan="3">2 人</td></tr> </table>						① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	(専修学校設置基準第41条第1項第1号)	2 人	② 学士の学位を有する者等	(専修学校設置基準第41条第1項第2号)	2 人	③ 高等学校教諭等経験者	(専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0 人	④ 修士の学位又は専門職学位	(専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0 人	⑤ その他	(専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0 人	計		4 人	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数			2 人						
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	(専修学校設置基準第41条第1項第1号)	2 人																																
② 学士の学位を有する者等	(専修学校設置基準第41条第1項第2号)	2 人																																
③ 高等学校教諭等経験者	(専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0 人																																
④ 修士の学位又は専門職学位	(専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0 人																																
⑤ その他	(専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0 人																																
計		4 人																																
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数			2 人																															

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

ブライダルプランナー・衣装コーディネーター・フラワーコーディネーター・スタジオスタッフ・ジュエリースタッフ・ホテルスタッフの6つの将来像を目標にカリキュラムを編成している。実際のブライダル、ホテル業界が必要とする人材を育成するために、大部分の授業を業界からの指導教員が担当し、カリキュラムについても意見交換をしながら常に時代に即した編成を構築する努力をする。

2年次のブライダル研究科目で、一般人の挙式・披露宴を学生のみで手掛けるため、「レストランサービス技法」「着付」「ブライダルヘアメイク」「フラワーアレンジメント」「パソコン演習」などの科目で2年次に応用を学び、より最先端の技術や知識を修得できる授業編成にしている。さらに、社会人が求める人材を養成・輩出できるカリキュラムを毎年改善しながら構築している。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

カリキュラム編成や授業科目の内容・授業方法の充実・改善、実施イベントの改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置する。美容業界団体や美容関連企業、サロンに依頼した委員からの意見・要望を伺う。学校は「教育課程編成委員会」での意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善やイベント内容の改善を教務部が主体となり行い、新たなカリキュラム案、イベント案を作成しそれを校長が決定する。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
野村 慎二	日本ヘアカラー協会 理事	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	①
河端 公美子	河端着付教室 代表	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③
高畠 育代	有限会社カールズジャパン 専務取締役	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③
小野 和則	株式会社セレクトビューティー 執行役員	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③
中村 博子	株式会社 韻町リバース 副院長	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③
西村 恭	ホテルニューオータニ大阪 管理部管理課 総務 支配人	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③
藤明 洋和	香川県健康福祉部生活衛生課 課長	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「-」を記載してください。)

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (10月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年10月30日 14:00～15:30

第2回 令和7年3月14日 14:00～15:00

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

検定取得に向けて努力することは、社会人になっても必要なので、検定取得を強化していってほしいと言われたため、検定のある授業は合格率をあげる対策を行う。

着付は実技だけでなく、着付検定などを受けると、知識も身につくのではないかとアドバイスをいただいたため、今後検討していく。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学内で身につけた知識、技術を企業等と連携した取り組みを通して評価し、より一層のスキルアップに繋がるようにする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

学内で身に付けた知識、技術がブライダル事業と連携した取り組みを通じて、より一層のスキルアップに繋がるようにする。実務実習(インターンシップ)を実施する。学生は実務実習先で接客マナー等を身に付け、実習指導者者に評価をお願いする。実習終了時には実習担当者の意見や実習評価をふまえ、担当教員が評価を行う。

JICAと協力しかがわ国際フェスタのショーを創り上げ、実施することで、イベントプロデュース力のアップを行う。準備から本番までをふまえ、担当教員が評価を行う。

ブライダルショーやチャリッシュウェディングにて使用する会場で、企業の方から実践授業を行っていただき、本番を手掛けすることで、現場経験を増やす。準備などの過程を含め、企業の方からの意見をふまえ、担当教員が評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企 業 連携 の 方 法	科 目 概 要	連 携 企 業 等
実務実習	3.【校外】企業内実習 (4に該当するものを除く。)	ブライダル、ホテル業の基礎となる挨拶や接客マナーを、実際の式場等で現場を通じて実践する。婚礼業務を見学したり、携わることでより理解力を高める。	(株)ベルモニー、高松パレス(株) (有)ウェディングボックスミツワ他
ブライダル業界知識	4.【校外】企業等が主催するインターンシップ等(学科が主体的に企画していないものを指す。)	かがわ国際フェスタにてショーのプロデュースと実施。	JICA
ブライダル研究	3.【校外】企業内実習 (4に該当するものを除く。)	本物の結婚式のプロデュースと施工。	(株)ベルコ アールベルアンジェ高松

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教員は教職員研修規程に従い、ブライダル業界で必要とされる資質、知識、技能について学生が習得できるよう、学内だけではなく、学外の研修等に参加することで自らの知識、技能の幅を広げ、それを教育の現場に反映させていくこととする。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	ブライダルコーディネート技能検定 実技試験勉強会	連携企業等:	BIA
期間:	令和7年1月16日	対象:	学科教員
内容	ブライダルコーディネート技能検定実技試験の実技力、ロールプレイングの指導方法を修得し、教授力の向上		
研修名:	ブライダル県外研修	連携企業等:	北野クラブsola
期間:	令和6年10月31日～11月1日	対象:	学科教員
内容	関西の式場、衣装店、ジュエリーショップの見学と講義および意見交換		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	ICT活用中級研修	連携企業等:	穴吹学園(本部)
期間:	令和6年4月3日(水)	対象:	教職員
内容	ICTを活用した授業運営について		
研修名:	非認知能力養成勉強会	連携企業等:	穴吹学園(本部)
期間:	令和6年9月12日(木)		
内容	非認知能力の伸ばし方		

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	WEB招待状 勉強会	連携企業等:	ジャスマックエージェンシー
期間:	令和7年8月26日(火)	対象:	学科教員
内容	WEB招待状について		
研修名:	沖縄リゾートウェディング研修	連携企業等:	サザンチャペル キラナリゾート沖縄
期間:	令和7年10月6日(月)～9日(木)		
対象:	学科教員		

内容	結婚式場の見学、ビーチでのフォトウェディング方法					
研修名:	ブライダルコーディネート技能検定 実技試験勉強会	連携企業等:	BIA			
期間:	令和8年1月15日(木)	対象:	学科教員			
内容	ブライダルコーディネート技能検定実技試験の実技力、ロールプレイングの指導方法を修得し、教授力の向上					
②指導力の修得・向上のための研修等						
研修名:	非認知能力養成勉強会	連携企業等:	穴吹学園(本部)			
期間:	令和7年5月19日(月)	対象:	教職員			
内容	非認知能力の伸ばし方					
研修名:	学習評価研修(基礎編)	連携企業等:	穴吹学園(本部)			
期間:	令和7年7月14日(月)	対象:	教職員			
内容	評価方法と基準についての基礎知識					
研修名:	学習評価研修(応用編)	連携企業等:	穴吹学園(本部)			
期間:	令和7年9月1日(月)	対象:	教職員			
内容	評価方法に基づいた授業展開					
4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係						
(1)学校関係者評価の基本方針 教育活動の観察や意見交換を通じて、学校運営及び教育活動等の評価を行い、その結果に基づき改善を図ることでよい人材の育成に努める。						
(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応						
ガイドラインの評価項目		学校が設定する評価項目				
(1)教育理念・目標		教育理念、目的、育成人材像が定められているか、等				
(2)学校運営		教育理念に沿った運営方針が策定されているか、等				
(3)教育活動		教育理念等に沿った教育課程の明文化、実施ができているか、等				
(4)学修成果		資格取得向上、就職率向上が図られているか、等				
(5)学生支援		退学率の低減、就職等進路支援の充実は図られているか、等				
(6)教育環境		設備、教育環境は整っているか、防災・安全管理の体制は十分か、等				
(7)学生の受入れ募集		学生募集は積極的・効率的に実施されているか。納付金の取り扱いは適切か、等				
(8)財務		財務基盤は安定しているか。財務情報の公開は適切か、等				
(9)法令等の遵守		法務順守と適正な運営がなされているか。自己評価を実施し公開しているか、等				
(10)社会貢献・地域貢献		学校の教育資源や施設を利用し社会貢献・地域貢献ができているか、等				
(11)国際交流						
※(10)及び(11)については任意記載。						
(3)学校関係者評価結果の活用状況 学校関係者評価委員からのコメントや意見をもとに、各項目の改善に取り組んでいる。						
(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿						
名 前	所 属	任 期	種 別			
野村 慎二	日本ヘアカラー協会	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	業界団体 委員			
河端 公美子	河端着付教室	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	企業等委 員			
高畠 育代	有限会社カールズジャパン	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	企業等委 員			
小野 和則	株式会社セレクトビューティー	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	企業等委 員			
中村 博子	株式会社 魁町リバース	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	企業等委 員			

西村 恭	ホテルニューオータニ大阪 管理部管理課 総務 支配人	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	企業等委員
矢野 理菜	Chrame in the life	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	卒業生代表委員
土居 真也	香川県立津田高等学校	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	高校関係委員
西本 泰三	英明高等学校	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	高校関係委員
落合 朱美	専門学校穴吹ビューティカレッジ保護者会	令和7年4月1日～令和8年3月 31日(1年)	保護者代表委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://web.anabuki-college.net/content/uploads/auk-rating-r3.pdf>

公表時期: 令和7年11月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の関係者に学校運営及び教育活動等の理解を深めて頂くため、積極的に情報を公開し説明に取り組む。情報公開のツールとして、ホームページ、学校パンフレット、募集要項等を利用する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画、等
(2)各学科等の教育	定員数、入学、卒業者数、カリキュラム、資格取得の状況、等
(3)教職員	教職員の概要、等
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況、職業支援等への取組状況、等
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況、課外活動の取組、等
(6)学生の生活支援	学生支援の取組状況、等
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金・就学支援(奨学金、授業料免除等の案内)、等
(8)学校の財務	事業報告書、学校関係者評価報告書、等
(9)学校評価	自己評価報告書、学校関係者評価報告書、等
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://web.anabuki-college.net/disclosure/#beauty>

公表時期: 令和7年11月1日

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 ブライダル学科)												
必修	分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所	教員	企業等との連携
	選択必修	自由選択						講義	演習			
1 ○			ブライダル知識	ブライダル産業の歴史、役割、今後の動向などからビジネスとしてのブライダルを理解する。ローブを交えながら説明力や言葉遣いを学ぶ。ブライダル系の検定取得。	1 通	150		○		○	○ ○	
2 ○			ブライダルコスチューム演習	婚礼衣装全般の知識や、小物の扱い方、貸衣装業の仕事について基礎的なことを学ぶ。ドレスの試着の技術を得る。	1 前	30		○		○	○	
3 ○			ホテル概論	ホテル全般の仕組み・組織について学ぶ。料飲サービスの実技を身に付ける。ホテル実務技能検定の取得を目指す。	1 通	60		○		○	○	
4 ○			料飲レストラン演習	ブライダルシーンにおける基本のメイクの習得やヘアアレンジの仕方を身につける。	1 通	60		○		○	○	
5 ○			ブライダルヘアメイク	ブライダルシーンにおける基本のメイクの習得やヘアアレンジの仕方を身につける。	1 通	60		○		○	○	
6 ○			着付	きものの基礎知識（小物、着物、帯の種類、TPO）を学ぶ。自ら、浴衣から留袖まで自装・他装ができるようになる。山野流着装初伝・中伝の資格取得を目指す。	1 通	60		○		○	○	
7 ○			パソコン実習	Wordの基本操作、チラシ作成、Excelで、関数・グラフの機能をマスターし簡単なデータ処理が出来るようになる。また動画作成や情報リテラシーの知識を得る。	1 前	30		○		○	○	
8 ○			ビジネス実務	サービス接遇検定準1級、マナー・プロトコール検定3級の取得を目指し、社会人に必要なマナー、立居振舞い、接客技術を学ぶ。	1 前	60		○		○	○	
9 ○			社会人基礎講座	企業研究やインターンシップの準備、就職活動における会社訪問から就職試験まで一連のノウハウを習得する。	1 通	70		○		○	○	
10 ○			ブライダルプランニング	プレゼンテーションを実施するにあたっての企画から資料作成、実際のプレゼン実習を通してその大枠を学ぶ。ブライダルショーの準備、実施。	1 前	80		○		○ ○ ○ ○	○	
11 ○			ブライダルコスチューム	婚礼衣裳業務にかかるプロとして知っておきたい洋装、和装の専門知識、貸衣裳業に携わるため必要な実践的技術を学ぶ。コスチューム検定の取得を目指す。	1 後	30		○		○	○	

12	○		写真演習	撮影の基本知識を学び、実技を通して構図や照明、アングルについて学ぶ。ブライダル写真の役割や仕事内容を知る。	1 後	30			○	○	○	○	
13	○		ブライダル業界知識	ブライダル、ホテル業界の知識を通して、サロンワーク実習を企画、運営する。	1 後	30			○	○	○		
14	○		実務実習	学内で学んだ知識、行動、倫理を現場で体験し、スタッフの役割を主体的に学ぶことで接客力を習得し、あわせてサービス業にふさわしい人格が形成される。	1 後	90			○	○	○	○	
15	○		ブライダル演習	ブライダルプランナーが行う一連の業務を理解する。ロールプレイングを通し、お客様獲得につながる効果的な接客方法を身につける。	2 前	60			○	○	○	○	
16	○		ブライダル実務	新規・成約接客の内容を詳しく学びロールプレイングを通し、お客様に理解していただける接客方法を身につける。ブライダルコーディネート検定の取得を目指す。	2 後	80		○		○	○	○	
17	○		ブライダルコスチューム演習	1年次に学んだ基礎を実践で活かせるよう技術を学ぶ。アンドテクニックやヘア・フラワーなどのトータルコーディネートができるようになる。	2 前	30			○	○	○		
18	○		ブライダルヘアメイク	メイク・ヘアの応用や、相モデルでフルメイク、ヘアを行いお客様のイメージに合わせたヘアメイクができるようになる。	2 通	60			○	○	○		
19	○		着付	1年時に学んだ着物の知識をより実践的に深める。留袖や振袖着付、袴の着せつけや、婚礼和装の着付知識を学ぶ。	2 前	30			○	○	○		
20	○		料飲レストラン実務	座学でホテル・レストランでの知識を学び、サービスの実践・お客様対応を現場で学ぶ。HRS技能検定筆記試験の合格を目指す。	2 前	80		○		○	○		
21	○		料飲レストラン演習	検定対策を行いながら、サービスの実践・お客様対応を身に付ける。HRS技能検定3級の取得を目指す。	2 後	30			○	○	○		
22	○		フラワー アレンジメント	フラワーデザインの基礎知識を学び、実践的な制作によって身につける。卓上装花、ブーケが制作できる。	2 通	70			○	○	○		
23	○		パーソナルカラー	ブライダル業界で活用できる色彩知識とパーソナルカラーの基礎知識と色を見分けるポイントを学ぶ。色彩技能パーソナルカラー検定モジュール1合格。	2 通	60		○		○	○		
24	○		パソコン演習	1年次に学んだWORD・EXCELの知識を復習し、さらに応用の知識を習得し、社会人として必要な技術を身につける。	2 前	30			○	○	○		
25	○		ビジネス実務	1年次の復習をし、社会人としての敬語やマナーを身に付け、ビジネス文書検定3級を取得。新聞やネットで業界の情報を知り、将来に活かせる知識を得る。	2 前	30		○		○	○		
26	○		社会人基礎講座	就職試験を受験する際の受験対策や、内定先後の企業が求める人材に近づけるような人間力を磨く。また電話応対や接客マナーをローブレを通して身に付ける。	2 通	60			○	○	○		

27	○		ブライダル プランニング	1年生と協力しながら、ブライダルショーを成功させる。企業との連携も行い、社会性を身に付ける。	2 前	80			○	○	○	○	○
28	○		ブライダル 業界知識	式場にて婚礼の事前準備研修、本番の業務に携わり実践力をつける。宿泊、ネイル、エステなどブライダル付帯部門についての知識や実技を学び、理解する。	2 通	50		○		○		○	○
29	○		ブライダル研 究	実際の結婚式運営にあたり、打ち合わせから顧客のニーズに合ったサービスを提供すること、責任の重さを実感し、2年間学んできた知識を生かし式を成功させる。	2 後	160		○	○	○	○	○	○
合計					29	科目	1700 単位 (単位時間)						

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：全科目の成績がC評価以上及び出席率が85%以上であること	1学年の学期区分	2期
履修方法：上記条件を満たすこと	1学期の授業期間	20週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。